

人生を輝かせる山登りのススメ(第11回)

日本全国50もある「ご当地アルプス」を楽しむ

2016.05.26



北アルプスの濁沢から穂高の稜線
(2016年5月上旬)

新年度のスタートから、早くも2カ月がたちました。4月から新しい環境になった方も、そろそろ慣れてくるころでしょうか。「人生を輝かせる山登りのススメ」の連載もおかげさまで第11回を迎えることができました。引き続き、私が登った山の話も合わせて、さらに山に関する情報をお届けしたいと思います。

日本アルプスだけでなく、全国に50もご当地アルプスがある

今回のテーマは「ご当地アルプス」。アルプスはご存じの通りヨーロッパ中央部に位置する山脈ですが、日本の中央部にも「日本の屋根」と言われるほどの巨大山脈群、日本アルプスがあります。群を成す3つの山脈(飛騨山脈・木曾山脈・赤石山脈)の位置関係から、それぞれ「北アルプス」「中央アルプス」「南アルプス」と呼ばれています。

南アルプスの北岳(3193m・日本第2位)、間ノ岳(3190m・日本第3位)や北アルプスの奥穂高岳(3190m・日本第3位)、槍ヶ岳(3180m・日本第5位)、中央アルプスの木曾駒ヶ岳(2956m・日本第25位)など標高も高く、日本を代表する山々が肩を並べています。しかし、日本で呼称されるアルプスはこの3つだけではなく、実は各地に50前後も「アルプス」の愛称を持つ山があることをご存じでしょうか？

飯豊連峰、朝日連峰、出羽三山を合わせた「東北アルプス」、「日光アルプス」(日光連山)、「東アルプス」(奥秩父)、「頸城アルプス」(頸城山塊)、「甲州アルプス」(小金沢連嶺)、「沼津アルプス」(静浦山地)、「鈴鹿アルプス」(鈴鹿山脈)、「六甲アルプス」(六甲山)、「兵庫アルプス」(氷ノ山一帯)、「四国アルプス」(石鎚山系)、「九州アルプス」(くじゅう連山)など、挙げれば切りがありません。

いろいろなご当地アルプス… 続きを読む